

令和3年度 実施事業の概要

<p><b>教育事業名:</b> 令和3年度 自然体験活動指導者(NEALリーダー)養成研修</p>			
<p><b>期間:</b> 令和3年8月28日(土)～29日(日)</p>			
<p><b>対象及び参加人数:</b> 自然体験活動や青少年教育に興味関心のある方 6名</p>			
<p><b>目的:</b>                  全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者(NEAL)養成カリキュラム」に則り、青少年向け自然体験活動プログラムにおいて、子供の発達段階に応じ、適切かつ安全に指導ができる自然体験活動指導者を養成する。</p>			
<p><b>事業概要:</b>                  全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者(NEALリーダー)養成カリキュラム」に則り、事業を実施した。大学生2名、社会人4名の計6名が参加した。                  各講習は以下の通りである。  <b>【自然体験の特質】:</b> 澤田 賢一 氏(NPO法人妙高山麗自然体験活動指導者会 理事、環境省自然観察指導員)  <b>【対象者理解】【自然体験活動の指導】:</b> 瀧 直也 氏(信州大学教育学部 講師)  <b>【自然体験活動の安全管理】:</b> 竹内 健悟 氏(頸南消防署 職員)  <b>【青少年教育における体験活動】:</b> 小林 朋広 (国立妙高青少年自然の家 所長)  <b>【自然体験活動の技術】:</b> 室井 修一 (国立妙高青少年自然の家 次長)                  池田 果穂(国立妙高青少年自然の家 係員)</p>			
<p><b>成果:</b>                  1泊2日でのタイトなスケジュールの研修だったが、参加者のアンケートからは、「基礎的・専門的内容をわかりやすく学ぶことができた」「楽しみながら学ぶことができた」「体験活動が目的や意図をもっていることを実感しながら学ぶことができた」などの声があり、充実した研修内容となった。                  大学生や小中学校教員、NPOの指導者の方など様々な所属の方からの参加があり、多様性のあるグループワークができた。また、受講した内容を各自のフィールドに持ち帰り、それぞれの立場で実践につなげていける学びの場となった。</p>			
			
<p><b>【自然体験活動の特質】</b>                  妙高戸隠連山国立公園に特化した講義後、ネイチャーゲームを行いながら植物の特性や自然体験活動の魅力についても学ぶことができた。</p>	<p><b>【対象者理解】</b>                  指導者としての心構え、振る舞い、参加者の年齢や特徴など理解しておくことの重要性について学んだ。また、アイスブレイクの活用方法を体験することができた。</p>	<p><b>【自然体験活動の指導・技術】</b>                  野外炊事や木のクラフト活動などを行い、安全管理や基本的な技術について実践的に学ぶことができた。</p>	<p><b>【自然体験活動の安全管理】</b>                  AED・救急蘇生法・応急処置等の実技と講義を行い、体験活動で活かせる研修となった。</p>
<p><b>課題:</b>                  ・取得した資格を活用できる事業や活動の場を具体的に示す。                  ・「自然体験活動の安全管理」では、より自然の環境下を想定した内容を検討すべき。                  ・自然体験活動時に怒り得る事故等の救急法に特化した内容も必要だった。</p>			